

市制施行 80 周年記念 戸定歴史館令和 5 年度企画展 「徳川公爵家のバックヤード—最後の家令が見た半世紀」

ふるさわひでや
古澤秀彌 氏旧蔵資料を 13 年ぶりにまとまった形で展示します。古澤秀彌氏は徳川 よしのぶ 慶喜、よしひさ 慶久、よしみつ 慶光 3 代の公爵に仕え、52 年もの長きにわたり勤めあげた人物です。歴代当主からの信頼が厚かった古澤氏は、彼らから贈られた貴重な写真や装束、美術工芸品を大切に守り伝えました。最後の家令が見た近代徳川家のバックヤードを、最新研究をふまえてご紹介します。

企画展概要

- 会期 前期 令和 5 年 10 月 7 日（土）～令和 5 年 11 月 5 日（日）
後期 令和 5 年 11 月 11 日（土）～令和 6 年 1 月 8 日（月・祝）
* 11 月 7 日～10 日に展示替え休館
* 12 月 26 日～1 月 4 日は年末年始休館
※期間中、作品保護のため、一部展示替えを行います。
※作品のコンディションによって、展示内容が変更になる可能性があります。
- 展示数 約 140 点（複写写真、展示入れ替え分を含めた展示予定点数）

【プレス向け内覧会（予定）】

2023 年 10 月 6 日（金） 14:00

※ 学芸担当者が展示内容についてご案内します。

●展示構成

プロローグ	将軍の肖像
第 1 章	少年秀彌と徳川慶喜邸
第 2 章	徳川公爵家の成立～家令への歩み～
第 3 章	家令心得・古澤秀彌
第 4 章	徳川家での日々
エピローグ	公爵家の終焉と最後の仕事～

●解説

明治13年(1880年)に生まれた古澤秀彌氏は、幼少時から江戸幕府最後の将軍だった徳川慶喜の屋敷に勤め、52年間徳川家のために尽くしました。同氏は着実に昇進を重ね、昭和8年(1933)以降、退職する昭和22年(1947)までの14年間、実質的な職員トップとして、その重責を果たしました。この当時、最上位の職員・家令(かれい。=ほかの職員をまとめ、家政を任される責任者)は空席だったため、古澤氏は家令心得(かれいこころえ)という職位でした。同氏には歴代当主から感謝の気持ちを込めて徳川家に伝わる品々が譲られ、平成22年、戸定歴史館はこれらの譲られた品を核とする「古澤秀彌氏旧蔵資料」の寄贈を受けました。

調査・研究が進んだことで、徳川家のお殿様として人々の注目を集めた歴代当主たちの人生の裏には、心を一つにして家政を支えてきた数多くの職員たちの姿があったことが明らかになってきました。これまであまり知られてこなかった職員たちの仕事ぶりにご注目ください。

●展示予定品

幕末期に撮影された徳川慶喜肖像写真(オリジナルプリント)10点、
徳川慶喜画《紅白花卉図》、
徳川慶喜墓誌拓本をはじめ、明治～昭和前期の文書、写真、着物、徳川家旧蔵書画など。



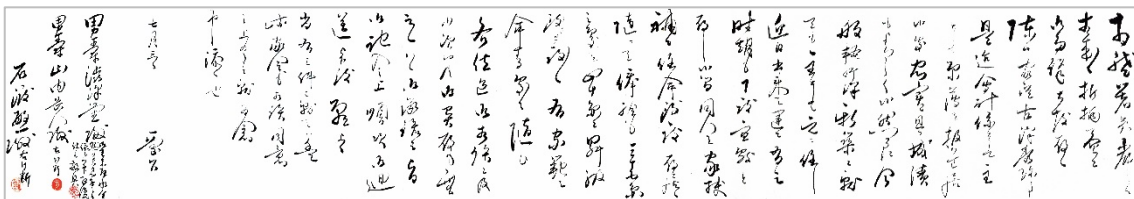
↑ 《紅白花卉図》
徳川慶喜画



↑「銀三ツ組賜盃」(徳川慶喜が明治天皇から拝領か)



↑ 古澤秀彌写真
(澁澤榮一邸にて)
1929.12.1 撮影



澁澤榮一ほか2名宛徳川慶久書簡（古澤秀彌を家扶補に任命致したくご相談）1916.7.3

施設情報

- 会 場 戸定歴史館・展示室
- 入館時間 9時30分～16時30分（17時閉館）
- 休 館 日 月曜（休館日が祝日の場合は翌日休館）
- 入 館 料 一般150円（戸定邸との共通入館券一般は320円）
 高校・大学生100円
 （戸定邸との共通入館券高大生は160円）
 ※中学生以下無料
 ※団体（20名以上）、市内在住70歳以上は割引料金あり



■ 戸定邸とは……明治時代の徳川家の住まいがほぼ完全に残る全国で唯一の建物です。建物は国の重要文化財、旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）は国の名勝に指定されています。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0092 千葉県松戸市松戸7-1-1

松戸市生涯学習部文化財保存活用課戸定歴史館

☎047-362-2050（月曜休館） FAX047-361-0056

✉ mctojourekishi@city.matsudo.chiba.jp

—最後の家令が見た半世紀—

徳川公爵家の バックヤード

いま、
扉が開かれる

2023
| 10.7 土
2024
| 1.8 日

※一部展示替えを実施



古澤秀彌氏(部分)



小日向邸庭玄関写真(部分)

松戸市戸定歴史館

徳川公爵家のバックヤード

—最後の家令が見た半世紀—

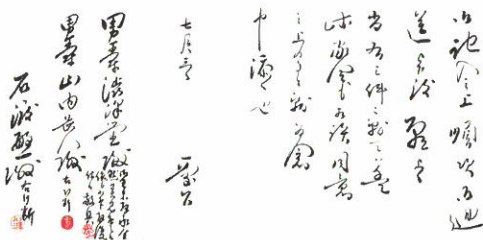
古澤秀彌氏(1880-1951)は幼少時より徳川慶喜邸に勤務し、52年間徳川家に尽くしました。同氏は着実に昇進を重ね、昭和8年(1933)以降、退職する昭和22年(1947)までの14年間、実質的な職員トップ・家令心得(かいいこころえ)として、その重責を果たしました。この当時、最上位の職員・家令(華族家でほかの職員をまとめ、家政を任される責任者)は空席でした。

同氏は、慶喜から続く3代の当主からの信頼も厚く、感謝の気持ちを込めて徳川家伝来品が譲られました。そのなかには、僅かな数しか残っていない將軍時代の徳川慶喜肖像写真のオリジナルプリントや、慶喜直筆の《紅白花卉図》が含まれていました。今回の展覧会では、これらの品を含む「古澤秀彌氏旧蔵資料」を13年ぶりにまとめて展示します。

公爵家の当主として、人々の注目を集めた歴代当主たちの人生の裏には、心を一つにして家政を支えてきた数多くの職員たちがいました。徳川公爵家のバックヤード(主やお客様の眼に触れない作業エリア)というタイトル通り、これまであまり知られてこなかった職員たちの仕事ぶりにご注目ください。



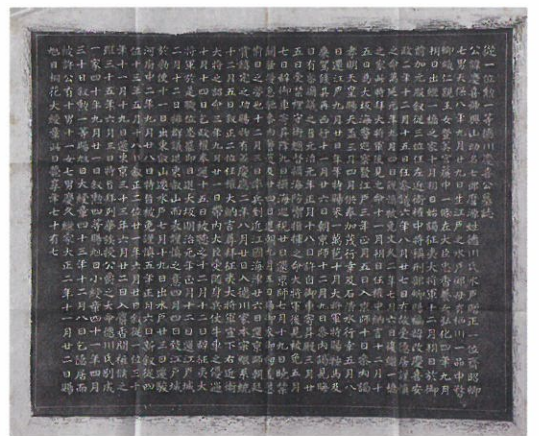
徳川慶喜《紅白花卉図》



澁澤榮一ほか2名宛徳川慶久書簡(部分)
(古澤秀彌を家扶補に任命致したく相談)



男物黒羽二重葵五つ紋付羽織



「従一位勲一等徳川慶喜公墓誌」(拓本)



徳川慶喜
(フランス軍装、將軍時代)



徳川慶喜和歌短冊
《月》《折にふれて》



狩野探信
《蓬莱山図双幅》



「銀三ツ組盃」

松戸市戸定歴史館 TOJO MUSEUM OF HISTORY

入館時間 午前9時30分～午後4時30分(午後5時閉館)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日休館)

展示替え期間/11月7日(火)～10日(金)

年末年始/12月26日(火)～1月4日(木)

入館料 歴史館・戸定邸共通入館券/一般320円、高大生160円など
中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方と同行者1名無料
団体(20名以上)・市内在住の70歳以上の方は団体料金適用



〒271-0092 松戸市松戸714-1 TEL. 047-362-2050



JR・新京成線 松戸駅東口下車徒歩約10分